

一 般 質 問 通 告 書

平成28年第2回定例会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
1	高 田 豊 繁	1 与論十五夜踊りの支援体制について	(1) 踊り子の後継者育成を今後どのように強化していく考えであるか。 (2) 新規の後継者には、支度金等の助成を行い支援する考えはないか。 (3) 十五夜踊りを映像で収録し、後継者の演目習得のための教材として活用する考えはないか。	町 長 教 育 委 員 長 教 育 委 員 長 教 育 委 員 長
		2 ふるさと納税の推進について	(1) 寄附金を収納する業務の一部外部委託やクレジットカードが利用できる新しいシステムを導入して顧客の利便性を図り、寄附額の増大と地場特産品や観光資源の活用を図る考えはないか。	町 長
		3 子ども議会の開設について	(1) 18歳以上から投票できる選挙法の改正をきっかけに、子ども議会を開設し、将来を担う子供たちが、政治に関心を持ち、まちづくりについて考え、意見を発表する体験を通じて行政や議会への理解を深めてもらうとともに、子供たちの純粋な意見を町政運営の参考とする考えはないか。	町 長
2	町 俊 策	1 役場庁舎の仮移転について	(1) 現在の役場庁舎は、揺れが軽度な地震や平年並みの台風によっても崩壊する危険性が高いと思われる。このような状況下で職員に就業させ、町民に来庁させることは、危険を無視した無責任のそしりは免れないものと痛感されるが、町長は、仮移転など具体的な対策を早急に講じる考えはないか。	町 長
		2 役場庁舎の建設場所について	(1) 役場庁舎の建設場所については、提案される場所を中心とした市街化構想図等を提示した上で、民意を問うなど入念な選定プロセスを経ることが肝要であると痛感されるが、町長は、具体的にどう進めていく考えであるか。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年第2回定例会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
3	野口 靖夫	1 一億総活躍社会の実現について	<p>(1) 一億総活躍社会の実現に向けて、町長は、本町の現状をどのように認識し、どう対策を講じていく考えであるか。</p> <p>(2) 安倍首相は、一億総活躍社会を実現するには、非正規労働者の処遇を改善し、能力を十分発揮することが重要であるとの観点から、「同一労働同一賃金」を打ち出しているが、町長は、役場の臨時職員の処遇についてどう考えているか。</p> <p>(3) 一億総活躍社会を実現するためには、子育て支援の充実を図る観点から保育士の確保や待遇改善が求められているが、町長は、本町の現状をどのように認識し、どう対策を講じていく考えであるか。</p>	町 長 町 長 町 長
		2 役場庁舎の建設について	(1) 庁舎建設の方向性を早急に町民に示す必要があると痛感されるが、基本構想や今後のスケジュールはどうなっているか。	町 長
4	林 敏治	1 ふるさと納税の推進について	(1) 近年、故郷などに寄附を行うことで所得税等の控除が受けられる「ふるさと納税」が注目を浴びている。本町においても地場特産品を生かして、ふるさと納税の推進に積極的に取り組む考えはないか。	町 長
		2 観光地づくり対策について	(1) 豊かな観光資源を生かした体験型観光地づくりを積極的に推進する必要性が痛感されるが、町長は、具体的対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
		3 住みよい環境づくりについて	(1) 共産党与論支部が要望している、辻宮住宅と瀬良座住宅の建て替えまでのシロアリ対策、雨漏り対策、トイレの水洗化について、具体的対策をどう講じていく考えであるか。また、母親が子供を安心して預けて働けるよう、学童保育の充実を求めているが、町長はどのように認識し、どう進める方針であるか。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 8 年 第 2 回 定 例 会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質問の相手
5	喜山 康三	1 財政状況及び財政計画について	(1) ごみ焼却施設、多目的運動広場など大型事業が進められるなか、追加事業費の増加や庁舎建設等さらなる大型事業も控えており、財政運営に強い懸念を覚えるが、財政計画はどのようなか。 (2) 町単独補助金事業や委託事業は公平、公明で事業範囲や予算規模等総合的な視点での計画、運用が求められる。補助金事業や事業委託の在り方を町長はどのように考えているか。	町 長 町 長
		2 職員の採用及び登用等人事について	(1) 今後、多くの職員の定年に伴う退職が見込まれ、経験豊富な職員の不足による行政業務に支障の恐れがあると痛感されるが、人事及び配置計画をどう考えているか。 (2) 職員の採用及び登用等について、人事評価の在り方等を見直し、改善する考えはないか。	町 長 町 長
		3 与論空港延伸整備事業について	(1) 現在、就航している Q400 は、滑走路が 1280メートルと短いため、出発便は、季節・天候によっては定員を 10人も減員して運行されている状況にある。安全運航の確保と本町の経済発展のためには、1500メートル空港は整備すべき最低限の社会インフラと考える。この事業を実現するためには、長期の地道な積み重ねを必要とするが、重要な政策課題として捉え取り組む考えはないか。	町 長
6	供利 泰伸	1 シンクタンクの創設について	(1) 役場庁舎の建設、景観とバランスのとれた道路や公園の整備、観光客の誘致対策など、町長が目指す政策を具現化するためには、シンクタンクを早急に創設する必要があると痛感されるが、町長は、どう取り組んでいく考えであるか。	町 長
		2 観光振興対策について	(1) 観光振興を図るためには、計画的な観光地づくりを推進するとともに、与論の誠の心でおもてなしをすることがリピーターにも	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年第2回定例会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質問の相手
			つながり重要であると考えてるが、具体的対策をどう講じていく考えであるか。	
7	麓 才 良	1 ヨロン島サンゴ礁基金の展開について	<p>(1) 現在、ふるさと納税が各自治体で大きな成果を上げており、本町でも専任職員を配置して調査を進めているところであり、大いに期待をするものであります。それとともに、本町には既にヨロン島サンゴ礁基金が設置されていて、有志の皆さんのご芳志をいただいて一部活用されていますが、PR不足が否めないのが現状であります。最今、ふるさと納税贈答品合戦の様相から自治体の地域活動に対する賛同の寄附と本来の姿へと指摘する動きがあります。この際、ヨロン島サンゴ礁基金に示された理念と事業内容を精査し、推進する仕組みや展開によって見える姿、目標を明確に示し、ふるさと納税と連動して進めていくべきではないかと考えるが、町長はどう考えているか。</p> <p>(2) サンゴ礁と共生する環境保全に関する事業については、緑の蘇生、水の蘇生、海の蘇生へと結びつける事業の展開を目玉にして推進し、発信する手だてをヨロンマラソンのメッセージとして発表する考えはないか。</p> <p>(3) 与論十五夜踊りの保存に関する事業については、発祥の理念の一つが町民の精神的融和を図ることを目指していることから、「文化財からみんなの祭り」へ展開することを明確に示して、町民へ働きかけることはもとより観光の目玉としても発信できると考えるが、町長はどのような視点に立って推進していく考えであるか。</p> <p>(4) 離島の振興に関する事業については、「島ぐるみで守り育む」環境を樹立するための人材育成に取り組むと示されています。子</p>	町 長
				町 長
				町 長
				町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年第2回定例会 No. 6

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質問の相手
			<p>まっているが、ガイドの高齢化と人材不足で、ガイドの養成と増員が急務となっている。DMO(観光地域づくり組織)を設立した際には、この問題に早急に取り組んでもらいたいが、どう進める方針であるか。</p>	